



黒川中だより

胎内市立黒川中学校 令和6年度 第3号

令和6年6月28日発行 TEL 0254-47-2425

教育目標 「自ら学び 鍛え合おう 心豊かに たくましく」
目指す生徒像 「ふるさとを愛し、正しい心を持ち、主体的に行動する生徒」

ありがたメイワク

校長 佐藤 光

自分ではよかれと思ってやることでも、相手にはそう受け止められないことがある。すべきかどうか判断に迷うこともある。その基準の一つに「自分がされて嬉しかった経験があるかどうか」があるというが、過去に同じことで失敗してしまったので、二度としないためにすることもあるだろう。

テーブルを囲んで料理を取り分けてあげる(もらう)ことも迷惑だと感じる人もいる。私ならもちろん感謝なのだが…。なぜここまで違うのか？二人の距離感、親密度の関係性か？

言葉がけもそうだ。親が子に「がんばりなさい」「気を付けて」などと発するのにも熟慮がいるとのこと。それらは子どもにとっては「呪いの言葉」にもなるという。何が正しいのか分からない、多様な考えや感覚で混沌としている現代社会は、言葉がけ一つとっても神経をすり減らすことの方が多い。ゴール(方向性)は一つではないから、余計難しい。だが、難しいでは済まされない。学校では一歩間違えると「よかれ」が「いじめ」となることがある。次のようなケースだ。

Aさんが算数の問題を一生懸命に考えていたところ、隣の席の算数が得意なBさんは、解き方と答えを教えてあげた。Aさんは、あと一息で正解にたどり着くところで、答えを聴いた途端に泣き出してしまった。このことでBさんは困惑してしまった。

下線部に関して、Aさんが一生懸命考えていたのかどうか、あと一息で正解にたどり着いたのか、その判断がその場面のBさんに求められるとしたら酷のような気がする。教えなければ教えないで思いやりのない不親切な子と思われるかも知れない。今の時代は、教えても教えずともいじめと受け取られかねない時代になっている。どういう行為であれ、相手がそれを苦痛と感じてしまうといじめと見なされる。時に「多様性」や「多様な価値観」といった耳障りのよい言葉で片付けられることに違和感が拭いきれない。私なりの「はて？」である。

60年ほど前、東京大学の茅総長が卒業式の告辞で「小さな親切」を広める運動を提唱したところ全国に広まり、現在に至っている。そこでは、挨拶をすることも、はっきりと返事をすることも、紙くずを捨てないことも8か条の一つとして「親切」なこととされている。親切とは何も乗り物で席を譲るようなことだけではない。

毎朝、生活委員会はいいさつ運動という形で小さな親切を配っている。生徒会長が公約に掲げたハイタッチ運動も順調だ。そのためか生徒玄関で交わす挨拶の声も弾むように届く。小さくても大きな値打ちがある。是が非でも継続してもらいたい。こうした草の根の取組が学校を地域を支えることになる。

先ほどの席を譲ることだが、中には「老人扱いされた」と憤慨する人もいると聞く。だからといって、何も行動を起こさなかったら、この世の中はどうなるだろう。ありがた迷惑やおせっかいとを感じるのは簡単。その人なりの思いやりであると受け止めればそれで済むことだ。

ちょっとした気遣いが裏目に出ることがある。「小さな親切、大きなお世話」になっていないか、自分の行動を顧みることも気遣いだろうが、「小さなお世話、大きな親切」だとも信じたい。そして、親切を受け取れるよう、感謝の気持ちをいっぱいもって生きていきたい。

下越地区大会 特集号

(1) 激励会

6月5日(水)、下越地区大会に出場する選手たちへの激励会が行われました。黒川中学校の代表としての誇りを持ち、力を発揮してほしいと願って、応援委員会が企画・運営したものです。

校長からの激励の言葉、選手宣誓、代表選手からの決意表明、応援委員を中心に全校生徒による迫力ある激励応援が行われました。



選手宣誓



激励応援の様子



野球部



ソフトテニス部男子



ソフトテニス部女子



卓球部男子



卓球部女子

(2) 大会の様子



(3)大会の結果

生徒の普段の活動の様子は、学校ホームページでも紹介しています。随時、更新しているので、ぜひご覧ください。



<野球部>

Bブロック 1回戦 勝ち 胎内 BC 9 - 6 朝日中
 Bブロック 2回戦 勝ち 胎内 BC 8 - 0 新発田第一中 (5回コールド)
 Bブロック 準決勝 勝ち 胎内 BC 11 - 6 畑野中
 Bブロック 決勝 惜敗 胎内 BC 7 - 8 聖籠中 (延長8回サヨナラ負け)
 代表決定戦 惜敗 胎内 BC 3 - 10 佐和田中 (5回コールド)

<卓球部>

☆団体 男子 1勝2敗 予選リーグ惜敗 女子 1勝1敗 予選リーグ惜敗
 ☆個人 男子 予選惜敗 女子 予選惜敗

<ソフトテニス部男子>

☆団体 2回戦 勝ち 黒川中 2 - 1 猿橋中
 3回戦 惜敗 黒川中 0 - 2 佐和田中
 ☆個人 河内葵・高橋優心ペア 3位 **県大会出場**



<ソフトテニス部女子>

☆団体 2回戦 勝ち 黒川中 2 - 1 新穂中
 3回戦 惜敗 黒川中 0 - 2 LOOP
 ☆個人 予選惜敗

保護者の皆様、これまでの部活動に対してのご支援に心より感謝申し上げます。朝早くからのお弁当作り、送迎、応援、生徒に寄り添った声かけ等、生徒の活動を支えていただきました。また、地域の皆様からの後援会費で大会参加費や部活動の道具の購入等をさせていただき、生徒の活動を支えていただきました。本当にありがとうございます。

スポーツ大会なので、勝ち負けの結果があります。しかし、学校の部活動として大切にしていることは、「部活動を通して心身のバランスのとれた成長等を重視している」ことです。生徒たちがどんなことを感じ、何を学んだかを大切にしてほしいです。3年生にとっては勝った生徒も負けた生徒も、これから一人の大人として自立して生きていくために大切なことを、これまでの部活動を通してたくさん学び、成長することができたと思います。

7月の主な予定

1日 (月) 地区大会報告会 (朝)	16日 (火) ~19日 (金) 期末保護者会
3日 (水) 専門委員会	16日 (火) 諸経費振替日
4日 (木) 基礎学力テスト 社会	17日 (水) 救急法講習
8日 (月) 県大会激励会	18日 (木) 基礎学力テスト 理科
10日 (水) 生徒朝会 (体育祭の色決め抽選会)	22日 (月) 3年生租税教室
11日 (木) 基礎学力テスト 表現 スクールカウンセラー来校日	24日 (水) 終業式 体育祭結団式
12日 (金) 3年生高校説明会	25日 (木) 夏季休業 (~8/28)
13日 (土) ~15日 (月) 県総体	27日 (土) 吹奏楽部サマーコンサート (14:00)
	30日 (火) 胎内市わたしの主張大会

黒中サポーターズ便り

No.1 2024・6

発行：地域コーディネーター
近・皆川・威本

5月31日 畑サポーターズ来校

約6年間続けてきた畑ですが、お猿さん被害のためお休みすることになりました。畑作業をお手伝いいただいた畑サポーターズの皆様には心より感謝いたします。

6月20日 30℃を超える暑さの中、畑サポーターズの皆さんがゴーヤを植えてくださいました。



ありがとう

新学期から自転車通学にも慣れてきました。これからも地域の方々のあたたかい見守りをお願いします。



6月6日 花壇サポーターズ来校

花壇整備をしていただきました。

花壇や花壇周辺がすっきり綺麗になりました。

【お問い合わせ】

黒川中学校 47-2425 (FAX 47-3115)

担当：教頭 高橋 ・ 教務 菅原

地域コーディネーター 近・皆川・威本